

# 地域医療連携 ニュース

中央治療センター



横田院長補佐（写真中央）と中央治療センタースタッフ

## Contents

### ご挨拶 (P.2)

院長補佐のご挨拶

### 手術支援ロボットを用いた人工関節手術 (P.2)

### 診療科のご紹介 (P.3)

産婦人科／小児外科

### 医師のご紹介 (P.4-5)

東洋医学科／消化管内科／産婦人科

### 看護部から (P.5)

“その人らしく生きる”を支える

腎不全看護の取り組み

### 栄養部から (P.6)

### 医療機関の方へ (P.6)

予約センター（電話初診予約）について

### 電話初診予約ご案内書 (P.7)

# ご挨拶

院長補佐 横田 和浩



9月に入ったとはいえ日中の暑さはまだ続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

埼玉医科大学病院は、特定機能病院として、安全・安心な医療の提供はもちろん、先進医療、治験、難病・希少疾患診療にも注力しております。

篠塚病院長のもと、臨床研究や医師主導治験にも積極的に取り組み、未来の医療を見据えた「挑戦」を続けております。先進的な治療に関心のある患者さんや、難病が疑われる症例がございましたら、まずはお気軽にご紹介ください。

今後とも地域医療のさらなる発展のため、皆様と力を合わせてまいりたいと存じます。引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 手術支援ロボットを用いた人工関節手術

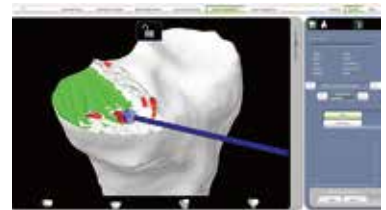
整形外科・脊椎外科 外来医長 渡會 恵介 外来☎：049-276-1289

当科では、2024年に約450件の人工関節手術を行いました。このうち人工股関節全置換術と人工膝関節全置換術において手術支援ロボット（Stryker社製MAKOシステム）を用いた人工関節を行っています。医師はロボティックアームをナビゲーションに従って操作し、骨を削り、インプラントを設置します。このとき、治療計画から外れた角度や深さで骨を削ろうとしたり、人工関節を設置する角度がずれたりすると、自動的にブ

レーキがかかり動きが制御されますので、治療計画に基づいた安全性の高い手術が可能となりました。また手術侵襲が少ないため術後の回復が早いのも特徴です。人工股関節では、誤差が生じやすい骨盤側のカップ設置を1mm単位の精度で行うことができます。また脚長をリアルタイムにモニタリ

ングしながら調整することが可能です。人工膝関節では、0.1°/0.5mmという骨切除精度に加え、人工膝関節に重要な靭帯バランスをmm単位で確認することができます。

手術支援ロボットを用いた人工関節は保険診療で受けることができますが、人工股関節、人工膝関節それぞれに適応基準がありますので、人工関節をご希望の患者さんがおられましたら、まずは人工関節専門外来（股関節：火曜日PM・金曜日PM、膝関節：木曜日PM・金曜日PM）にご紹介いただければ幸いです。



人工膝関節全置換術



手術支援ロボット

### ● 診療部長からのメッセージ 診療部長：門野 夕峰 ●●●●●●●●●●

当科では、人が自立するために重要な運動器の診療を行っています。超高齢社会のわが国では、健康寿命を延ばすことが課題です。手術支援ロボットを用いることにより、より安全な手術を行うことで、手術治療の選択肢を拡げていきたいと考えています。



## 診療科のご紹介

### 産婦人科 診療部長 梶原 健 (カジハラ タケシ)

外来☎：049-276-1297

当科では、子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍などの婦人科良性腫瘍患者の手術（開腹手術や内視鏡を使った手術）・フォローアップおよび経過観察を丁寧に行っております。また、不妊治療にも力を入れており、リプロダクションセンターを設けて、産婦人科の一般外来とは別に外来ブースで治療を行っています。一般的な不妊治療に加え、体外受精などの高度生殖医療も実施しており、年間およそ200件の実績があります。

さらに、骨盤臓器脱（子宮や膀胱が下がる病気）に関しても様々な術式（経腔の手術、腹腔

鏡下手術等）による手術や手術以外の治療（リングペッサリー等）を行っています。また遺伝に関するカウンセリングや出生前の遺伝子検査、月経不順、月経困難症、更年期などの症状に対するホルモン治療など、女性の一生に寄り添う幅広い治療を行っています。



#### 診療部長からのメッセージ 診療部長：梶原 健

近隣には産婦人科の診療所が少ないため、婦人科のことでお困りの方、急な症状がある方など、たくさんの方にご利用いただいております。婦人科のことで不安なことや気になることがあれば、お気軽にご相談ください。

### 小児外科 診療部長 田中 裕次郎 (タナカ ユウジロウ)

外来☎：049-276-1905

当科の診療は6名のスタッフが中心となっておこなっており、スタッフは全員が外科専門医で、そのうち3名は小児外科専門医です。24時間手術をおこなえる体制を整えており、小児科



をはじめ多くの診療科と協力してあらゆる小児外科疾患を治療しています。高難度の腹腔鏡手術、胸腔鏡手術（合わせて内視鏡外科手術と呼びます）も学会の技術認定取得者を中心に安全におこなって

きております。また、尿道下裂、膀胱尿管逆流症、腎盂尿管移行部狭窄症といった専門性の高い小児泌尿器疾患の手術も数多くおこなっています。

手術は内視鏡外科手術と従来の開創手術の両者のメリットを取り入れた術式を選択して、より安全で整容性が高く、精緻な手術をおこなうように工夫をしています。最近では肥厚性幽門狭窄症の手術を臍からの単孔式腹腔鏡手術でおこなうための鉗子を開発しました（写真）。

これからも小児の長い将来が少しでも快適に過ごせるような術式を追求し、患者さんがより良い選択をしていただけるように日々技術を磨き、進歩していきたいと思っております。

#### 診療部長からのメッセージ 診療部長：田中 裕次郎

埼玉医科大学病院小児外科は脳、心臓、骨を除いた小児外科疾患全般の診療を高いレベルでおこなっています。また、小児泌尿器の専門外来も開設して尿道下裂等の専門性の高い手術もおこなっています。ありふれた疾患なのでどこで手術しても同じだとお考えにならず、是非当科へご紹介下さい。喜んでみさせていただきます。

## 東洋医学科 東洋医学科医局長・外来医長 光藤 尚 (ミツフジ タカシ)

当科は本年4月より鈴木朋子教授が運営責任者となり、湯液（漢方薬）と鍼灸の外来診療を行っています。湯液は常勤医4名（兼担



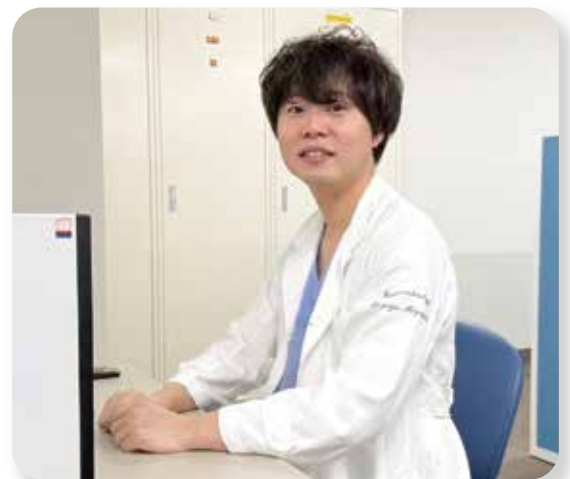
東洋医学センター外来スタッフと光藤先生  
(前列左から2人目)

1名)と非常勤医師4名、鍼灸は常勤鍼灸師4名と非常勤鍼灸師4名で外来診療を担当しています。末梢性顔面神経麻痺や片頭痛などの一次性頭痛、腰痛など、耳鼻咽喉科や脳神経内科、整形外科などと併診の患者さんや、冷えなど東洋医学独特の症状の患者さんの診療を行っています。湯液は西洋医学を基本に患者さんの状態を東洋医学的に考察し、漢方薬を処方します。特に頭痛を専門としており西洋薬との併用を心がけております。鍼灸は保険診療上、湯液を含む院内各診療科との同日受診が出来ませんが、お一人おひとりに時間をかけて施術をします。西洋医学との併用は可能です。遠慮なくご紹介ください。宜しくお願い申し上げます。

## 消化管内科 講師 宮口 和也 (ミヤグチ カズヤ)

消化管内科では、炎症性腸疾患（IBD）や消化管腫瘍から小腸疾患、機能的消化管疾患まで幅広い消化管疾患の診療を提供しております。当科の特色として、IBDの新規薬剤の導入や、ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）やLECS（腹腔鏡内視鏡合同手術）をはじめとした低侵襲内視鏡治療を積極的に行っており、患者さんの負担軽減を実現しています。また、私自身は臨床研究にも力を入れており、現在、AIを併用した内視鏡検査システムによる診断精度向上研究、急性下部消化管出血に関する多施設共同研究、上部消化管出血に対する多施設ランダム化比較試験など、多数のプロジェクトを推進しております。地域の先生方からのご紹介患者さんに対しては、迅速かつ的確な診断・治療を行い、消化

器肝臓内科、消化器一般外科と連携し診療を進めさせていただいております。消化管疾患でお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、お気軽にご相談・ご紹介ください。





## 産婦人科 教授 田丸 俊輔 (タマル シュンスケ)

近隣の医療機関の皆様、日頃より病診連携にご協力くださり有難うございます。この度、2025年5月1日付で埼玉医科大学病院産科・婦人科教授を拝命いたしました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

私は、産婦人科の中でも、特に胎児診断や合併症妊娠などの診療を中心に行っております。妊産婦さんの診断や管理について近隣の先生方がお困りの事がございましたら、妊娠中のいずれの時期でもご相談いただける体制になっております。特に先天性心疾患では、新生児科や埼玉医科大学国際医療センターの小児心臓科と、出生前からチームを組み対応します。また、合併症のある方が妊娠をご希

望の際には、妊娠前から健康管理や薬に関するご相談に対応しているほか、他診療科と連携を取り、最善の治療を行います。どんな患者さんに関してもお気軽にご相談ください。



## 看護部から

### “その人らしく生きる”を支える腎不全看護の取り組み

腎不全看護認定看護師である私の役割は、慢性腎臓病の患者さんと家族を対象に、患者さんが自分の生活を調整しながら、人生を豊かに過ごせるように側面からサポートすることです。

国内では約1330万人、成人の5人に1人が慢性腎臓病といわれており、特に末期腎不全と診断された方には、治療と生活の両面で大きな転換が求められます。



腎代替療法の説明で模型を用いて手技を実演している場面

そのような患者さんに対して、血液透析か腹膜透析または、腎臓移植といった治療法の違いや、それぞれのメリット・デメリットを丁寧に説明

し、納得のいく選択ができるようお手伝いしています。

また、透析導入後は、食事制限や水分管理、服薬、感染予防など、日常生活における多くの自己管理が必要となります。私は管理栄養士や他職種と連携しながら、無理なく生活に取り入れられるよう支援し、透析治療を継続的に進められるよう患者さん一人ひとりに寄り添っています。患者さんから「透析をしても仕事は続けられる?」「旅行に行ける?」といった質問を受けます。生活スタイルを丁寧に聴取し、患者さんの生活に合わせた透析療法を続けられるように、その人らしい生活の再構築を目指しています。

どんな些細なことでも構いませんので、お気軽にご相談ください。

**腎不全看護認定看護師  
成田由姫子**



安全で快適な透析治療を支えています



## 栄養部から

医食同源という言葉の通り、食事は人々の健康を支える根源であると考えています。栄養部では治療に向き合う皆さんに合わせ、直営給食を活かしながら入院中の栄養管理、食事提供を行っています。外来診療においても、各種疾患に対して個別栄養指導や糖尿病教室、腎臓病教室といった集団指導を行い、患者さんの食習慣の改善と疾病の改善・進行予防に努めています。

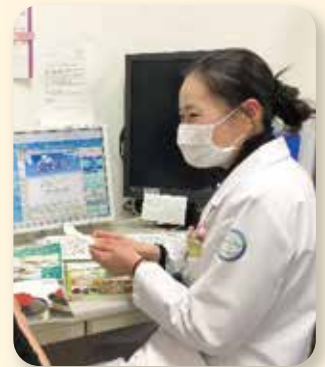


個別栄養指導の風景

昨年からはじめた慢性腎臓病患者を対象とした慢性腎臓病透析予防指導では、腎臓内科医師、

看護師と連携をとりながら患者支援を行っています。今や慢性腎臓病は8人に1人といわれる国民病であり、糖尿病性腎症に次いで、腎硬化症は透析導入に至る原疾患の第2位となっています。高齢化を背景とする腎硬化症は早期介入が治療のカギとなることは皆さんご存じのことと思います。地域よりご紹介頂いた患者さんに対し、医師より栄養指導や腎臓病教室の依頼を頂くことも増えました。当院では慢性期から透析導入、その後の通院に至るまで医師、看護師、栄養士、薬剤師など多職種が連携して指導にあたっています。これからは患者さんに寄り添い元気になっていただけるよう努めてまいります。

管理栄養士  
高城慶衣子



## 医療機関の方へ

● 予約センター（電話初診予約）について【予約センター：049-276-1179】

☎ 予約受付時間 8:30～17:00 月曜日～土曜日（祝日・年末年始を除く）

電話でご紹介頂く患者さんの初診予約を行います。紹介状をお持ちの初診患者さん専用となります。

ご紹介患者さんの受診科が決まりましたら、紹介状と一緒に電話初診予約ご案内書を患者さんへお渡しください。お渡しいただく際に、患者さん自身で予約センターへ電話連絡の上、予約をとってから受診いただきますようご案内お願いいたします。

※ただし、予約枠の無い診療科がありますので、予めご了承ください。

なお、患者さん自身で電話予約ができない場合は、お手数ですが、医療機関様よりご連絡いただけますようお願いいたします。



電話初診予約ご案内書

次ページをコピーしてご利用ください

救急患者のご紹介は直接、救急センターへご連絡ください。  
TEL：049-276-1199 FAX：049-295-8007

# 電話初診予約ご案内書

年 月 日

紹介元医療機関名

医師氏名

## 電話初診予約ご利用の患者さんへ

**埼玉医科大学病院 予約センター 049-276-1179**  
**受付時間 月曜日～土曜日 8:30～17:00**

- ◆ご来院の際は、下記の太枠内に必要事項を記入の上、上記予約時間の15分前までに本館1階初診窓口、「ご来院日にお持ちいただくもの」をお出してください。既に、診察券をお持ちの方も初診窓口にお寄りください。  
 (初診窓口での外来診療申込書の記載は必要ありません)
- ◆ご来院日にお持ちいただくもの
  - ・本書(ご案内書) ・健康保険証またはマイナンバーカード ・各種公費医療券(お持ちの方のみ)
  - ・診療情報提供書(紹介状) ・埼玉医科大学病院のIDカード(診察券)(お持ちの方のみ)
- ◆診療の状況により予定時間より遅れることもあります。予めご了承ください。
- ◆ご受診当日、本書を忘れた場合は初診窓口前にある外来診療申込書を記載してから初診窓口へ提出し予約があることをお伝え下さい。
- ◆キャンセルや予約変更は予約センターへご連絡をお願いします。
- ◆下記の太枠内は患者さんご自身でご記入ください。

埼玉医科大学病院		予 約 日 時			
診療科		年 月 日( ) 時 分～ 時 分			
フリガナ			国籍 Nationality	性 別	生年月日(Date of Birth)
患者氏名	(氏) Family name (名) First name			<input type="checkbox"/> 男(M) <input type="checkbox"/> 女(F)	明・大・昭 年 月 日 平・令
現住所 (Address in Japan)	〒 - (Zip)	電話番号(Phone No.)			
		携帯電話(Mobile Phone No.)			
	都道府県	区市郡	町 村	マンション・アパート名( 号室)	
フリガナ				(Relationship to Patient)	
連絡者 (本人以外)	(氏) Family name (名) First name		続柄	患者の	
連絡先住所 (Family-address)	〒 - (Zip)	電話番号(Phone No.)			
		携帯電話(Mobile Phone No.)			
	都道府県	区市郡	町 村	マンション・アパート名( 号室)	
埼玉医科大学病院受診歴 あり・なし					
ありの方 前回受診日以降に住所等の変更があれば、変更前のものをお知らせ下さい。					
旧姓	旧住所		旧TEL		

埼玉医科大学病院

## 埼玉医科大学 建学の理念

- 第1 生命への深い愛情と理解と奉仕に生きる  
すぐれた実地臨床医家の育成
- 第2 自らが考え、求め、努め、以て自らの成長  
を主体的に開展し得る人間の育成
- 第3 師弟同行の学風の育成

## 埼玉医科大学の期待する医療人像

- 高い倫理観と人間性の涵養
- 国際水準の医学・医療の実践
- 社会的視点に立った調和と協力

### ●埼玉医科大学病院の基本理念

当院は、すべての病める人に、満足度の高い医療を行うよう努めます。

### ●病院の基本方針

- 1. すべての病める人々にまごころを  
もって臨みます。
- 2. 安心で質の高い医療を実践します。
- 3. まわりの医療機関と協力し合います。
- 4. 高い技能を持つ心豊かな人材を  
育成します。
- 5. より幸せとなる医療を求めた  
研究を推進します。

### ●患者さんの権利

当院は、すべての患者さんには、以下の権利があるものと考えます。  
これらを尊重した医療を行うことをめざします。

- ① ひとりひとりが大切にされる権利
- ② 安心で質の高い医療を受ける権利
- ③ ご自分の希望を述べる権利
- ④ 納得できるまで説明を聞く権利
- ⑤ 医療内容をご自分で決める権利
- ⑥ プライバシーが守られる権利

### ●小児患者さんの権利

当院は、すべての小児の患者さんには、以下の権利があるものと考えます。  
これらを尊重した医療を行うことをめざします。

- ① こどもが最善の治療を受けて  
生きる権利
- ② こどもが暴力から守られる権利
- ③ こどもが能力を十分に伸ばせる  
ような医療を受ける権利
- ④ こどもが自分の診療について  
自由に意見を述べる権利

### ☎ 連携医療機関からの各種問い合わせ

救急センター	: 049-276-1199	医療福祉相談室（退院調整）	: 049-276-2119
地域医療連携室	: 049-276-1876	入退院・患者支援室	: 049-276-1484
予約センター（外来初診予約）	: 049-276-1179	セカンドオピニオン受付	: 049-276-1121



## 埼玉医科大学病院 地域医療連携ニュース（24号）

発 行：埼玉医科大学病院  
 発行責任者：篠塚 望  
 編 集：埼玉医科大学病院広報戦略委員会・地域医療連携室  
 編集責任者：樽本 憲人・中里 良彦  
 電 話：049-276-1876 地域医療連携室  
 住 所：埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38  
 発 行 日：2025年9月1日

※掲載している写真等は、関係者の同意を得ています。  
 ※表紙の写真に関して、感染対策のため、スタッフはマスクを着用しています。撮影時、横田院長補佐のみ一時的にマスクを外しています。